

東日本大震災・復興支援まつり

脱原発

復興支援

出展団体の売り上げは被災地支援に使われます。

11月9日

ヨコハマ山下公園で会いましょう！



日時：2013年11月9日(土)

11:00～14:30（雨天決行）

場所：山下公園 おまつり広場



主 催 東日本大震災・復興支援まつり実行委員会

(構成団体：神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、NPO法人WE21ジャパン、社会福祉法人いきいき福祉会、神奈川ネットワーク運動、NPO法人地球の木、生活クラブ親生会、さんえすクラブ、生活クラブ生活協同組合)

後 援 神奈川県、岩手県、福島県、横浜市、川崎市、相模原市、にかほ市、神奈川県生活協同組合連合会、横浜市消費者団体連絡会、共生地域創造財団、河北新報社、神奈川新聞社、バルンドゥレ生協、生活クラブ連合会、福祉クラブ生協、生活クラブ生協ふくしま(順不同)

お問い合わせ：東日本大震災・復興支援まつり実行委員会

TEL 045-474-0985

(生活クラブ生活協同組合神奈川 政策調整部)

東日本大震災復興支援まつり



復興支援

脱原発

ヨコハマ 山下公園で 出会う

「復興支援」「脱原発」
楽しみながら、感じ、考えよう…

「東北の地から人々が横浜に集い、
あなたを待っています」

食す



東北の美食を
たらふく味わおう!

岩手の焼きうに・気仙沼のサメの心臓・ふかひれスープ、牡蠣焼き、亘理町ケチャップ・ジュース、さんまなタイやキ、いぶりはたはた、餅つき実演、ビール、ホットワイン、焼き鳥、たこ焼き、お好み焼き、おしるこ、コーヒー、ケーキ、きのこスープ、キャラメルポップコーン等…

伝える

「復興支援」「脱原発」運動の
取り組みについて
伝えたい思いと行動があります。

脱原発アピール、太陽光発電アピール、
生活クラブ風車、アーティスト藤田靖正氏
によるインсталレーション

楽しむ

温かく、可愛い
東北の手仕事と復興支援のグッズたち…

布草鞋、ふぐろ、東北伝統工芸、復興支援・被災地支援
グッズなどの販売。ヨーヨーづくり、バルーンアート他



協賛

神奈川県漁業協同組合連合会、JAグループ神奈川、(株)農協観光神奈川支店、日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川事業本部、神奈川県労働者福祉協議会、全労済神奈川県本部、城南信用金庫、遊佐共同開発米会社、JA上伊那、㈲アグリサポートシステム、㈱エコクリーン、㈱川崎食品サービス、大日本食品工業㈱、㈲佐藤印刷所、英君酒造㈱、㈲ライフアート、生活クラブ農産物協議会、平田牧場高崎事業所、㈱木暮開拓農協、㈱オルタフーズ、㈱ウエルライフ、オルタスクエア㈱、㈱グリーンピア、ヤマキファーム、(公社)神奈川県地方自治研究センター、一般社団法人川崎地方自治研究センター、川崎医療生協、市民セクター政策機構、参加型システム研究所、日本ルネサンス研究所、一般社団法人グリーンファード秋田、CELC(カーネギーライフアワード)、フォーラム・アソシエ、女性・市民コミュニティバングル、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会、NPO法人川崎市民石けんプラン、戸塚まちづくりユニット、コミュニティオブティマム福祉マネジメントユニットかながわ、栄コミュニティオブティマム福祉マネジメントユニット、南まちづくりユニット、横浜西部福祉ユニット、NPO法人さくらんば、森山建設㈱、日本大学生物資源科学部、NPO法人藤沢災害救援ボランティアネットワーク、青葉福祉ユニット、こども達に未来をin湘南、生活クラブ青森、生活クラブ埼玉、生活クラブ群馬、生活クラブ長野、生活クラブ愛知、生活クラブ京都エルコープ(順不同)

3度目の3・11が過ぎても未だに、ふるさとに戻れない十数万の人々、消えたままの産業、暮らしがあります。残念なことに、震災直後の日本に満ち満ちた人々のつながりやたすけあいを大切に思う気持ちの盛り上がりや脱原発社会へ向かう決意は、日々の暮らしの中で、人々の記憶から少しづつ薄れはじめているのも事実です。これらの記憶・思いの風化を私たち自身の危機として、私たちは大震災からの復興をめざした活動・脱原発社会に向けた活動を継続し、生活の再生に取り組みたいと思います。

持続可能な社会には何が必要なのでしょうか。

3・11以前と同じように、TPPに象徴されるグローバル経済の成長神话に期待するのか、地域で循環し、実感できるコミュニケーション経済を大切にしていくのか、日本社会全体が問われています。復興支援まつりには、地域を見つめ、被災地で復興してきた海・山の産物や、市民が自立するために始めた手仕事が登場します。支援のための販売や支援カンパだけではなく、被災地で暮らし生産し活動する市民と、神奈川で生きる市民が出会い語り合い、交流し、励まし合いながら新しい連帯を作り、共に復興し、未来を創るために、11・9ヨコハマ山下公園で会いましょう。



ウリパラム

4種の韓国伝統打楽器によるパーカッション・アンサンブル“サムルノリ”的グループ。多国籍のメンバーが参加し、国内外での公演はもとより、イラク戦争開戦時にいち早く平和コンサートを呼びかけるなど、市民運動とも連携しつつ活動を展開している。



Kotobuki

ナビイ(歌)、ナーグシク・ヨシミツ(歌、ギター、三線)の男女二人組。琉球弧の島々で歌い継がれる島唄と、メッセージ性の強いオリジナル・ソングで国内外で活躍。平和・人権・環境・脱原発などの市民運動をエンパワーしながら、30年近く活動を継続。ピース・ボートにも何度も乗船している。



朴保(パク・ボ) BAND

80年代から反戦・人権・マイノリティ擁護の姿勢を貫く。レゲエ・韓国民謡・ソウル・ロックを混在させたパワフルな音楽を繰り広げ、内外の反核市民運動で歌い続けてきた。「誰がこの地球を救うの」「ヒロシマ」「もんじゅを止めよう!」など、数々の反核・反戦・脱原発の名曲をもつ。

